



(一社)徳島ビルメンテナンス協会労働安全衛生大会

R2.2.3(月)

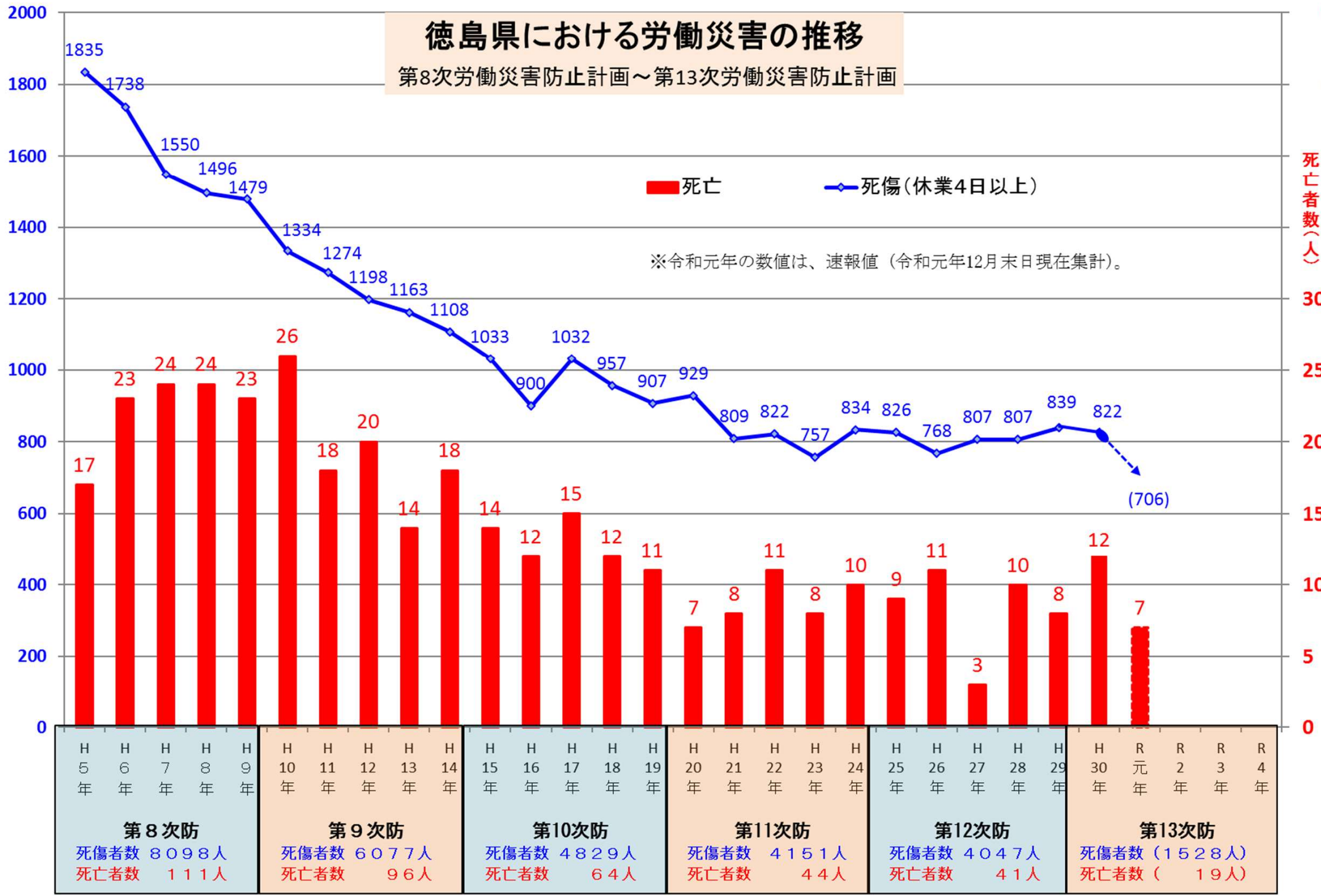
ビルメン業で働く労働者の 安全の確保のために

徳島労働局健康安全課

死傷者(休業4日以上)

徳島県における労働災害の推移

第8次労働災害防止計画～第13次労働災害防止計画



死亡者数(人)

30

25

20

15

10

5

0

第8次防

死傷者数 8098人
死亡者数 111人

第9次防

死傷者数 6077人
死亡者数 96人

第10次防

死傷者数 4829人
死亡者数 64人

第11次防

死傷者数 4151人
死亡者数 44人

第12次防

死傷者数 4047人
死亡者数 41人

第13次防

死傷者数 (1528人)
死亡者数 (19人)

①業種別 (死亡者数)

年 業種		平成	平成	平成	平成	平成	平成	平成	平成	平成	平成	令和	計
		21年	22年	23年	24年	25年	26年	27年	28年	29年	30年	元年	
製造業		3	3	2	1	2	3		3	1	2	2	22
建設業		2	2	2	3	4	5		2	4	4	3	31
道路貨物運送		1						2	1		1	1	6
林業		2	3	2			2			1			10
三次 産業	小売業			2	1			1	1		1		6
	小売以外		1		3	3	1		1	1	2		12
上記以外			2		2				2	1	2	1	10
計		8	11	8	10	9	11	3	10	8	12	7	97

第三次産業	小 売 業	83	69	78	61	—	—	—	—	—	68	67	-1.5%
	医 療 保 健 業	34	34	43	23	—	—	—	—	—	32	28	-12.5%
	社 会 福 祉 施 設	52	44	64	48	—	—	—	52	52	55	53	-3.6%
	飲 食 店	20	19	22	21	—	—	—	—	—	17	21	23.5%
	清 掃 ・ と 畜 業	41	40	39	40	—	—	—	—	—	30	42	40.0%
	通 信 業	18	23	17	20	—	—	—	—	—	17	21	23.5%
	上 記 以 外 の 第 三 次 産 業	102	82	82	63	—	—	—	—	—	55	72	30.9%
	計	350	311	345	276	—	—	—	—	—	274	304	10.9%
上 記 以 外 の 事 業	42	32	32	20	—	—	—	—	—	23	20	-13.0%	
合 計	839	809	822	648	—	—	—	797	800	657	706	7.5%	

平成26～令和元年 ビルメンテナンス業(全国:死亡者数)

※令和元年は12月末現在の速報値

	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	計
計	22	10	14	15	19	11	91
うち 四国で発生	1		2				3

平成30年 ビルメンテナンス業（全国：死亡者数）

事故の型別	死亡者数（人）
墜落・転落	14
交通事故	2
はさまれ・巻き込まれ	
おぼれ	1
激突され	
転倒	1
有害物等との接触	1
感電	
その他	
計	19

平成31年・令和元年 ビルメンテナンス業（全国：死亡者数）

事故の型別	死亡者数(人)
墜落・転落	11
交通事故	
はさまれ・巻き込まれ	
おぼれ	
激突され	
転倒	
有害物等との接触	
感電	
その他	
計	11

ビルメンテナンス業 死亡災害事例

災害の概要	年齢
<p>ブランコ作業でビルの窓ガラス清掃を行っていたところ、メインロープが支持物から外れ、ライフラインを設けていなかったため地上まで墜落した。</p> <p>(ロープ高所作業)</p>	51歳
<p>建築物屋上にて、高所ガラスの清掃作業を行う準備作業を行っていたところ墜落した。</p> <p>(ロープ高所作業の準備作業)</p>	28歳

ビルメンテナンス業 死亡災害事例

災害の概要	年齢
<p>屋上の鉄架台を吊元としてブランコを設置し、ビルの窓ガラス清掃作業を行う際、吊元の強度不足のため、ブランコとともに地上に墜落した。</p> <p>(ロープ高所作業)</p>	52歳
<p>ビルの清掃作業中、階段の踊り場に仰向けに転落した。</p> <p>(建築物内の清掃作業)</p>	77歳

ビルメンテナンス業 死亡災害事例

災害の概要	年齢
<p>マンションの清掃業務中、マンション階段の踊り場から地上に墜落した。</p> <p>(建築物内の清掃作業)</p>	56歳
<p>ビルの清掃作業のために、地上から地下にいる同僚に清掃道具等を渡そうとした際、墜落した。</p> <p>(建築物外での清掃準備作業)</p>	52歳

ビルメンテナンス業 死亡災害事例

災害の概要	年齢
<p>マンションの清掃作業中、エントランスホールの屋根部より墜落した。</p> <p>(建築物内の清掃作業)</p>	39歳
<p>立体駐車場の蛍光灯の交換作業中、脚立から墜落した。</p> <p>(脚立高所作業)</p>	67歳

ビルメンテナンス業 死亡災害事例

災害の概要	年齢
<p>建物屋上で、報告用の写真を撮影していたところ、開口部から墜落した。</p> <p>(建築物の管理作業)</p>	51歳
<p>マンションの修繕箇所を確認を行うため屋上へ移動していたところ、屋根の端部から転落した。</p> <p>(建築物の管理作業)</p>	69歳

ビルメンテナンス業 死亡災害事例

災害の概要	年齢
<p>工場の階段のモップ掛けをしていたところ、バランスを崩して踊り場まで転落した。</p> <p>(建築物内の清掃作業)</p>	68歳

平成26～01年 ビルメンテナンス業(徳島:休業4日以上死傷者数)

※令和元年は12月末現在の速報値

事故の型別	休業4以上の死傷者数(人)						
	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	計
転倒	2	2	4	12	3	11	34
動作の反動・無理な動作	5	3	4	3	2	4	21
墜落・転落	3	1	1	3	2	1	11
はさまれ・巻き込まれ		2		3	1	1	7
交通事故				1			1
激突	1						1
激突され			1				1
切れ・こすれ					1	1	2
崩壊・倒壊		1					1
計	11	9	10	22	9	18	79

平成26～01年 ビルメンテナンス業(徳島:休業4日以上死傷者数)

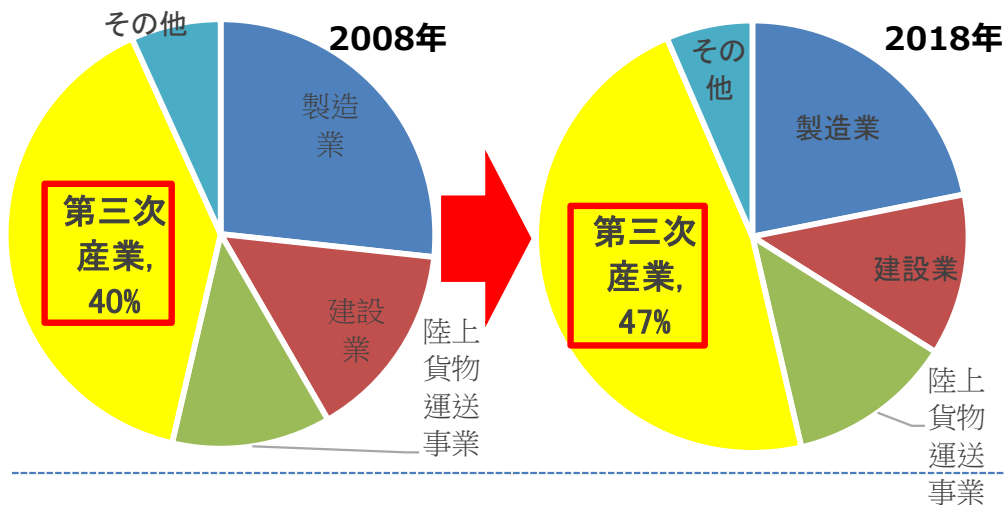
※平成30年は12月末現在の速報値

年齢別	休業4日以上の死傷者数(人)						
	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	計
～19歳							0
20～29歳	1	1	2	1		1	6
30～39歳	4	1		2		2	9
40～49歳		2	1	3	2	4	12
50～59歳	1	1	1	4	2	1	10
60歳～	5	4	6	12	5	10	42
計	11	9	10	22	9	18	79

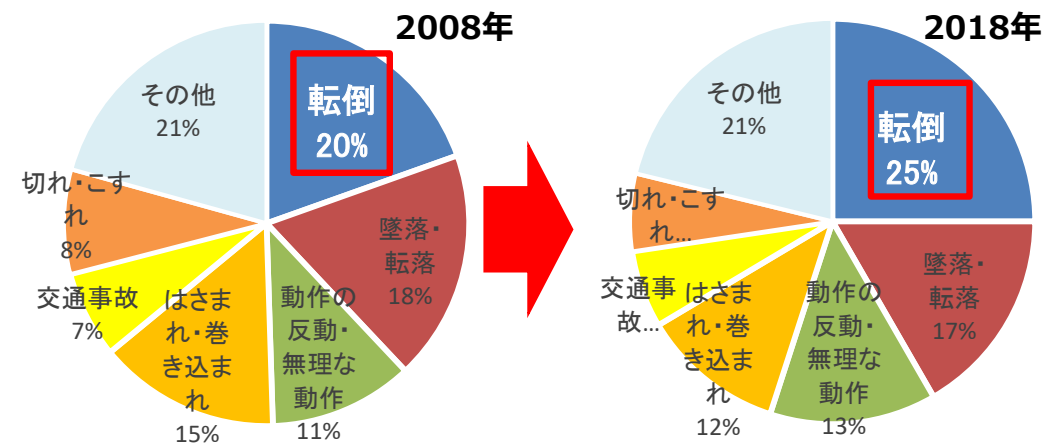
休業4日以上之死傷災害の特徴(2008年と2018年比較)

- ・ **第三次産業（サービス業）が占める割合が増加（40%→47%）**
- ・ **60歳以上の高年齢労働者が被災する割合が増加（18%→26%） 50歳以上で半数**
- ・ **転倒災害が占める割合が増加（20%→25%） 転倒は高齢女性に多発**

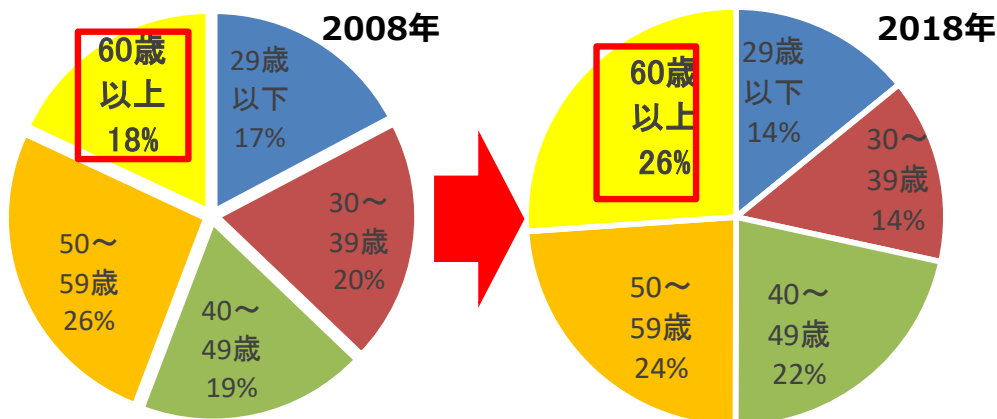
○ 業種別死傷災害発生状況（休業4日以上）



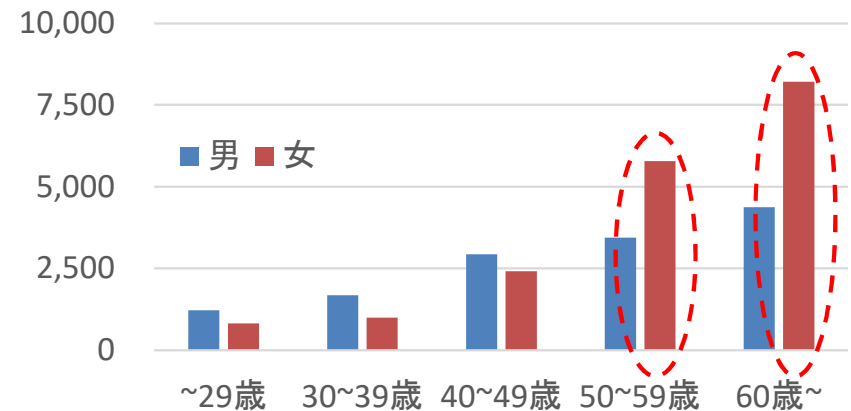
○ 事故型別死傷災害発生状況（休業4日以上）



○ 年齢別死傷災害発生状況（休業4日以上）



転倒災害被災者の性別・年齢別比較（2018年）



転倒災害防止対策について

○事業場内での転倒防止対策

- ・段差等の解消、4 Sの徹底
4S（整理・整頓・清掃・清潔）
- ・危険箇所の「見える化」の推進
- ・安全な歩き方、作業方法の推進
- ・作業内容に適した保護具の着用の推進

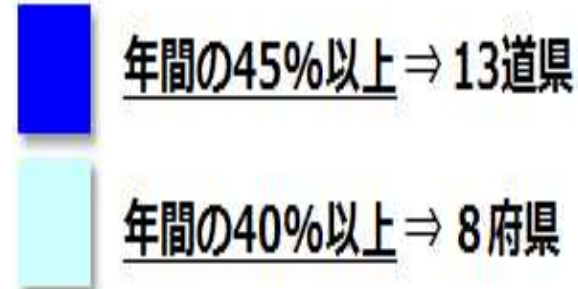
○冬季における対策

- ・気象情報を活用したリスクの低減
危険マップの作成等

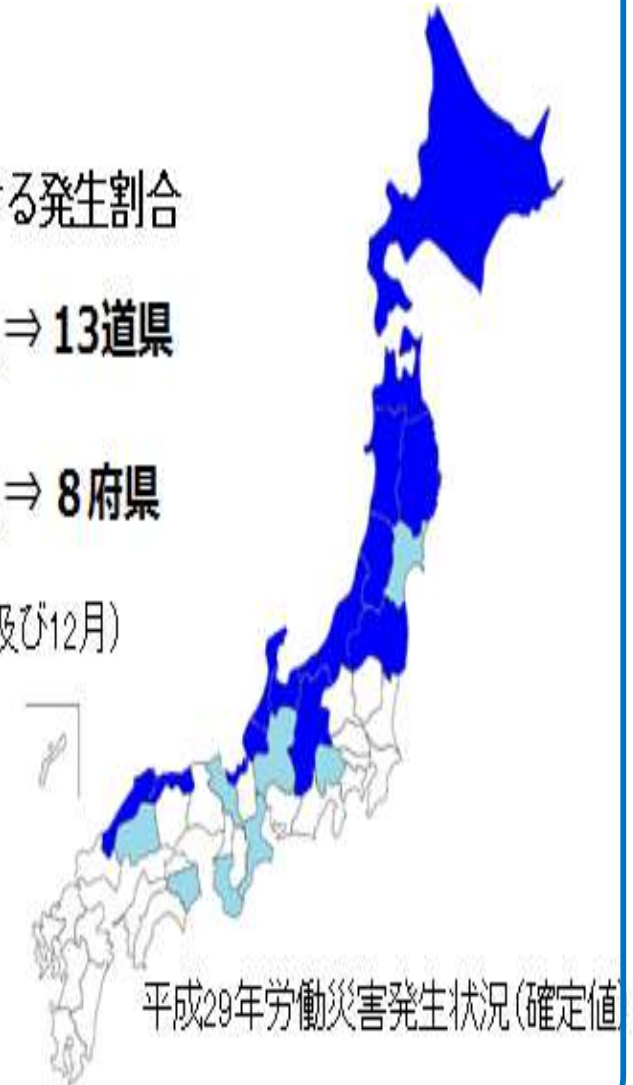
○高年齢労働者対策

- ・高年齢の女性労働者が多い事業場においては
重点的な注意喚起

転倒災害の冬季における発生割合



(期間:平成29年1~3月及び12月)



転倒災害防止対策について

○ STOP！転倒災害特設サイト（職場のあんぜんサイト）の活用

- ・ サイトで公開されている効果的な対策、視聴覚教材、好事例の活用等

転倒・腰痛防止用視聴覚教材（YouTubeにて公開）

転倒・腰痛防止用視聴覚教材



～飲食店、小売業向け転倒・腰痛防止用視聴覚教材～

～社会福祉施設向け転倒・腰痛防止用視聴覚教材～

「見える」安全活動コンクール

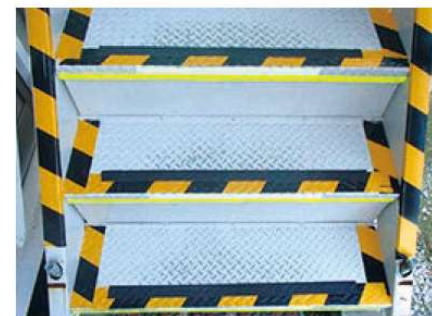
「転倒災害」を防止するための「見える化」～事業場における優良事例を公表

「転倒災害」を防止するための「見える化」

優良な活動事例	ワークシューズ・足袋の適切な見える化	ソーラー光沢式の床灯による危険場所の照ら
<p>（株）竹中工務店 作業時が必要なお店での呼吸器の見える化はよい。感温に入れている点もよい。</p>	<p>（株）あきんどスロー 長靴の底の摩耗状態の悪いを写真でわかつやすく示している。</p>	<p>東亜建設工業（株） 点滅灯によるつまづき防止対策はよい。</p>

「見える」安全活動の例

事例① 転倒災害を防止するための「見える化」

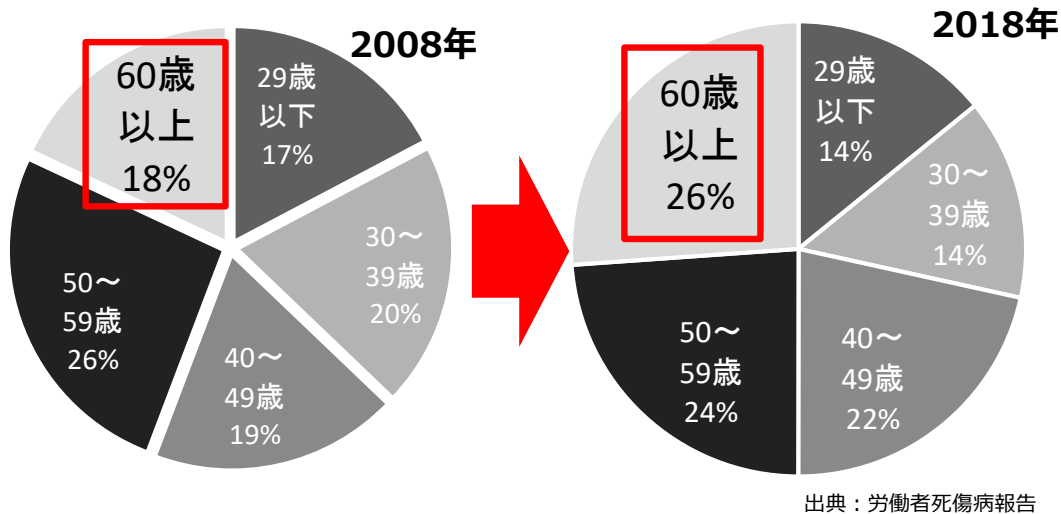


仮設事務所階段の転倒防止処置
仮設事務所の階段は滑りやすく踏み外しやすい。よって、滑り止めテープおよびトラテープを貼った。また、夜間の対策として人感センサーおよび反射・蓄光テープを貼り見える化を徹底。

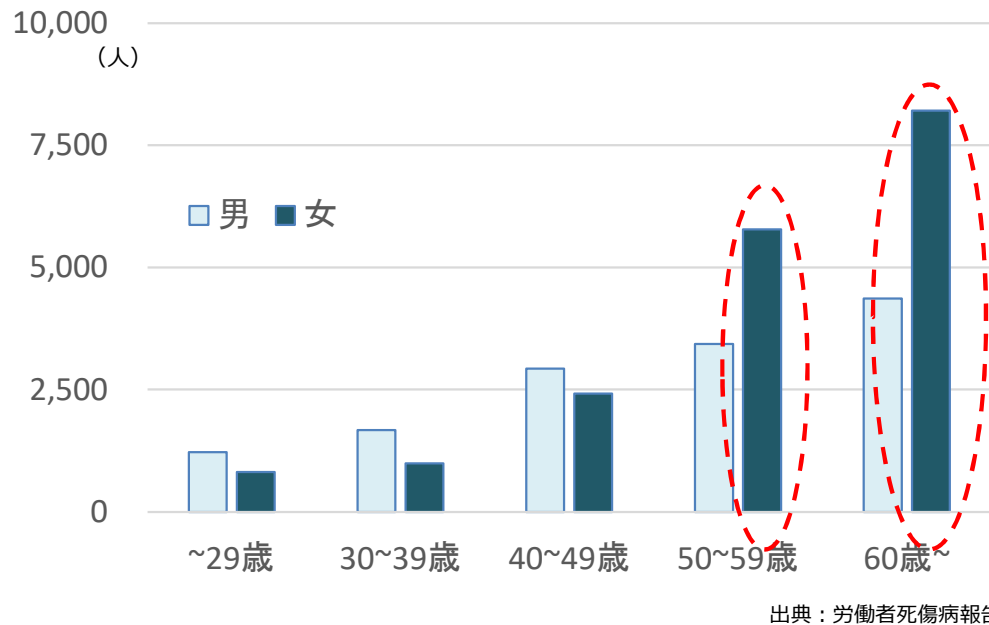
企業名：東芝インフラシステムズ（株） 関西支社
業種：建設業

高齢労働者の労働安全衛生対策

○ 年齢別死傷災害発生状況（休業4日以上）



○ 転倒災害被災者の性別・年齢別比較（2018年）



○ 人生100年時代に向けた高齢労働者の安全と健康に関する有識者会議（有識者検討会）

労働災害による休業4日以上の死傷者数のうち、60歳以上の労働者が占める割合は増加傾向（平成20年：18%⇒平成30年：26%）であり。特に転倒や腰痛が多い。

このような状況を踏まえ、高齢労働者の安全と健康に関して幅広く検討する。

○ 検討事項

- (1) 効果的な安全衛生教育のあり方
- (2) 労働災害防止に向けた安全対策について
- (3) 健康確保対策について
- (4) その他

高齢者の労働災害を防止するため

▶ **ガイドラインを策定**（令和元年度中）

事業者に対して、取り組むべき事項や望まれる取組を示す。労働者に対して、高齢期の身体機能低下への気付きを促し、若年期の体力づくりや高齢期の体力維持を呼びかける。

▶ **調査研究の実施**

高齢者の身体機能に関するもの（令和2年度厚労科研費等）

▶ **中小企業に対する支援（補助金）創設**

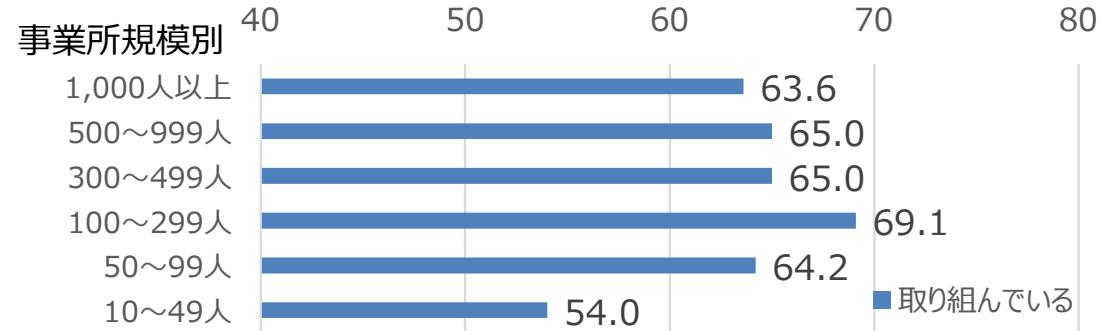
エイジフレンドリー補助金（仮称）（令和2年度概算要求）

高齢労働者の労働災害防止対策の取組状況

1 高齢労働者の労働災害防止対策の取組の有無

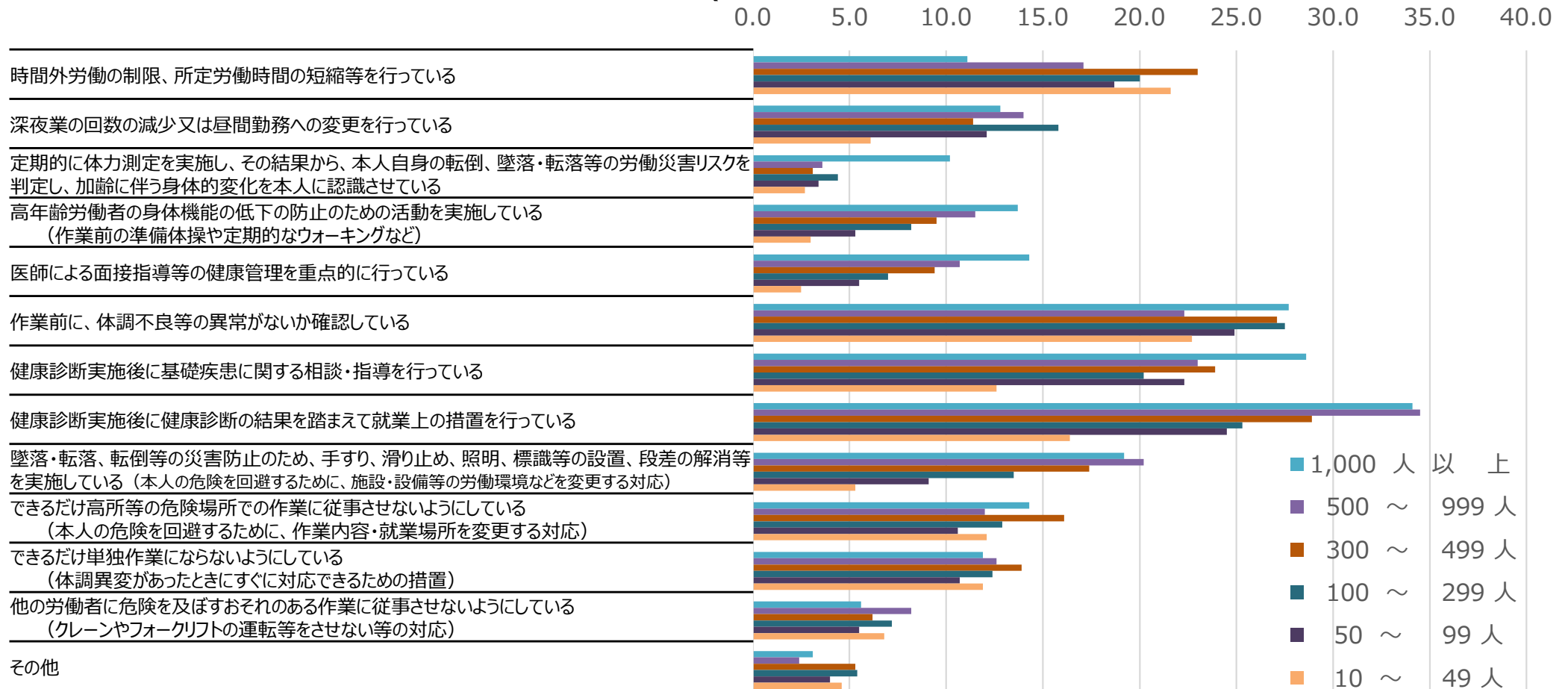
取り組んでいる	取り組んでいない	不明	(%)
55.7	40.4	3.9	

出典：平成28年労働安全衛生調査（実態調査）



2 高齢労働者の労働災害防止対策の取組内容(複数回答)

※すべての事業所を100%として



出典：平成28年労働安全衛生調査（実態調査）